

伊豆市ワークショップの実施経過

平成 16 年 4 月 1 日に修善寺・土肥・天城湯ヶ島・中伊豆の 4 町が合併した伊豆市において、市内全域の関係者を構成員としてグリーン・ツーリズム《G T》の推進を図る組織「伊豆市 G T 連絡会」を立ち上げ、G T メニューの充実化および受け入れ体制の確立を目指しました。

【第 1 回】10 月 15 日(金) 19:00 ~ 21:30

福島県で自然体験教室あぶくま自然大学の進士徹さんの事例発表ほか。修善寺・土肥・天城湯ヶ島・中伊豆の 4 つの地区に分かれて、観光や交流の地域の資源をリストアップしました。

【第 2 回】10 月 18 (木) 13:30 ~ 16:30

修善寺・土肥・天城湯ヶ島・中伊豆の 4 班ごとに農林漁業体験が可能と思われる具体的なプログラムについて、2 W 1 H 『どこで、(Where) ,何を (What) ,どのように実施するか (How)』を検討しました。

【第 3 回】12 月 6 日(月)【修善寺、天城湯ヶ島】13:30 ~ 17:00 調査
7 日(火)【中伊豆、土肥】13:30 ~ 17:00 調査

体験プログラムの作成・実施が見込まれる個所を現地調査して、2 W 1 H 『いつ (When) ,誰が (Who) ,いくらで体験可能か (Howmuch)』を検討しました。

【第 4 回】1 月 20 日(木) 13:30 ~ 16:30

第 3 回の現地調査の結果を踏まえ、4 つの地区での体験プログラムについて、班ごとに結果を模造紙にまとめ、発表しました。

伊豆の“へそ”伊豆市のG Tの連携をめざして

伊豆市は、平成 16 年 4 月に修善寺・土肥・天城湯ヶ島・中伊豆の旧 4 町が合併して発足しました。

温泉や名所旧跡を有する観光地と森林資源に恵まれた豊かな水源を活用した農林漁業のまちづくりを推進しています。新市はこうした観光資源と農的な資源を活用した新



たな観光の推進して、全市にわたるG T資源の掘り起こしと、多様なプログラムづくりを目指したワークショップを実施することになりました。

本事業は、農水省のG T推進のソフト事業「地域連携システム整備事業」を活用して、4 回のワークショップを実施し、G Tの計画に反映していくことになっています。

実践者からG T実施の勘所を聞く

第1回ワークショップは 10/15(金)伊豆市生涯学習センター生きいきプラザで実施しました。

福島県で自然体験教室あぶくま自然大学校および農林漁業体験民宿WARERA元気倶楽部の代表として幅広く実践活動に取り組まれている福島県認定地域興しマイスターの進士徹さんからG Tに関する取り組み経緯や推進のポイントを聞いた後、4 つの旧町のエリアに分かれて、今後のグループワークで行う作業



内容の説明を行い、旧 4 町ごとの班に分かれ各地域で最も自慢できる地域資源を 5 つ検討し、班ごとに発表しました。



旧・修善寺町、中伊豆町、土肥町、天城湯ヶ島町の4つの班でオススメのポイントを上げてみる

【第2回】は、11月18日(木)

参加者は旧4町エリアに分けました。班の構成は、『地元A地区から2名+他の3地区から各1名の合計5名』となるよう配分しました。

最初に、雰囲気を和やかにすることと、メンバーの融和を図るために、2人づつペアになって、他人を紹介する他己紹介をしました

自分の地区の人は、他の地区から班に加わって人をお客さんと考え、他の地区から参加した人は、外部の目として、その地区の魅力や代表的なポイントについて、意見の交換をすることにしました。普段見慣れた名所も他の地の人への何気ない質問や指摘で、地域の魅力の再発見につながります。

また、類似の作物や文化など連携の可能性も探るヒントが得られました。

特に、農林漁業体験が可能と思われる具体的な2W1H『Where, What, How(どこで、何を、どのように)』という視点でメニュー候補を検討しました。



市内のポイントを実際に確認してみる

【第3回】12月6日(月)～7日(火)

候補となった現地において2W1H『When, Who, Howmuch (いつ、だれが、いくらで)』を明確にしていくため、各班ごとに実地踏査を行いました。

修善寺町、天城湯ヶ島町は6日に、中伊豆、土肥町は7日探索しました。





4つの地区の体験メニューを作成する 【第4回】平成17年 1月20日(木)

伊豆市の4つの地、修善寺、中伊豆、天城湯ヶ島、土肥のそれぞれについて、区班ごとに実地踏査の結果、伊豆市の体験プログラムとして、場所、時期、内容、手法、実施主体、値段などを検討し模造紙にまとめ、また、4つの地区の特徴を効果的にアピールするキャッチコピーや体験プログラムのタイトルを検討して、発表を行いました。

最後に、まちむら交流きこうから「伊豆市の体験プログラムのブランド化」についてアドバイスをして、4回にわたるワークショップを終了しました。